

## 政治経済学部のポリシー

### ディプロマ・ポリシー

- ①社会科学全般にわたる幅広い学識を身につけ、社会の多様な問題を総合的・多角的に理解・把握できる人を育成する。
- ②情報の氾濫、価値観の多様化など、従来の枠組みではとらえきれない複雑な社会状況の中でも適切な判断を行うことができる力を備えた人を育成する。
- ③グローバルな場、ローカルな場など、さまざまな場で活躍・貢献する行動力のある人を育成する。
- ④以上のような目途に即した学業をなし、各学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、それぞれの学士号を授与する。

### カリキュラム・ポリシー

- ①基礎学力およびコミュニケーション能力の向上のための指導導入として、書き方、話し方、情報リテラシーなど、基礎的な科目を配置する。
- ②学生の関心・専門に応じた多岐にわたる専門科目、演習科目、卒業関連科目を提供する。
- ③幅広い知識と経験を養成するために、外部講師とのパネルディスカッションの実施、インターンシップ、フィールドワークを導入する。

### アドミッション・ポリシー

- ①社会のさまざまな舞台で通用する、幅広い教養を身につけたい人を求める。
- ②企業・公務員・教員・進学など、多方面の分野の中から、将来の自分の可能性を見つけない人を求める。
- ③社会の第一線で役立つ判断力・行動力を身につけたい人を求める。

## 政治経済学科のポリシー 2013年度までの入学生対象

### ディプロマ・ポリシー

- ①グローバル化社会に対応しうる幅広い教養および語学力を有する人を育成する。
- ②複雑多様な現代社会に対処しうる、政治・経済・法律・社会・経営に関する専門知識を備えた人を育成する。
- ③教養、語学力、専門知識を実社会において十分に活用するための、コミュニケーション、ディスカッション、プレゼンテーション、問題発見の能力を身につけた人を育てる。
- ④以上のような目途に即した学業をなし、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士号（政治経済学）を授与する。

### カリキュラム・ポリシー

- ①国際的な幅広い教養を養うため、多彩なキリスト教科目、教養科目、地域圏研究を設ける。また、生きた語学力養成のための英語カリキュラムを組み、オールラウンドな履修の場を提供する。第二外国語も初歩から学習できるように配置する。
- ②政治・経済・法律・社会・経営に関する専門知識の土台を築くため、1年次において政治学・経済学・法学・社会学を基礎専門科目として必修とする。さらに、選択的に専門知識を広げるための政治学系・経済学系・法学系・社会学系・経営学系の専門科目群を設置する。また、主体的に、専門知識を深化させる場として少人数制の専門演習、卒業研究、卒業論文科目を設ける。
- ③これらの教養、知識を実社会において有効に活用できるスキルを鍛錬するため、書き方・話し方・情報リテラシーからなる基礎教育入門を必修とするほか、インターンシップ、公開討論方式科目、短期留学科目をさらなるスキルアップの場として配置する。

### アドミッション・ポリシー

- ①いかなる職業分野であれ、個性を見失うことなく、積極的に社会的役割を担い、貢献しようとする成熟した社会人を将来の自己像とする者を求める。

## 政治経済学科のポリシー 2014年度以降の入学生対象

### ディプロマ・ポリシー

- ①政治経済を中心に、社会科学全般にわたる幅広い専門知識を身につけ、社会の多様な問題を総合的・多面的に分析できる能力を有する人を育てる。
- ②ビジネスの諸問題の解釈に向けて積極的に取り組むために、経済学や経営学の専門知識を備えた人を育てる。
- ③グローバル化に対応しうる現実的な世界的視野のもとで、平和構築に向けて世界情勢を的確に把握する力を有する人を育てる。
- ④良き市民として、また公務員となって、地域社会で活躍し貢献するために、地域社会および地域経済に関する知識を備えた人を育てる。
- ⑤情報社会に対応できる知識を身につけ、それらを市民活動や実務などで活用する能力を有する人を育てる。
- ⑥以上のような目途に即した学業をなし、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士号（政治経済学）を授与する。

### カリキュラム・ポリシー

- ①複雑多様なグローバル社会に対応しうる問題解決力を養い、体系的・主体的な学びを支援する。
- ②知の基礎力向上をめざすとともに、多面的な思考能力を養うため、政治学系・経済学系・経営学系・法律学系・社会学系・情報学系科目からなる 1) 経済経営、2) 国際平和、3) 地域共生（まちづくり）、4) 情報コミュニケーションの4コースおよび公務員試験対策プログラムを設置する。
- ③自己表現力、傾聴力、他者との関係を取り結ぶ力など社会人に求められる就業力等を育成する為、1年次から3年次までの必修の演習科目等を通じて、少人数の参加型授業を実施する。
- ④地域の運営や経済にかかわる実学的な知識と能力を養うため、フィールドワークを組み込んだ体験的学習を重視する。

### アドミッション・ポリシー

- ①社会のさまざまな舞台で通用する幅広い教養を身につけ、積極的に社会的な役割を担い、貢献したい人を求める。
- ②社会の第一線で役立つ判断力・行動力を身につけ、企業・公務員・教員・進学など、将来の自分の可能性を見つけない人を求める。
- ③地域社会など多様なコミュニティの問題に関心・興味があり、公務、経済活動、地域活動を通して地域社会の活性化に関わりたい人を求める。

## コミュニティ政策学科のポリシー

### ディプロマ・ポリシー

- ①良き市民として、また（地方）公務員となって、地域社会を支えるために、地域社会の形成・運営に関する専門的知識を備えた人を育てる。
- ②地元企業やコミュニティ・ビジネスなどの経営において専門的知識の活用、実力を職場で発揮できる企業人に必要な、政治、経済、経営、情報コミュニケーションに関する知識を備えた人を育てる。
- ③良き市民として、地域社会で活躍し貢献するために必要とされる、地域社会、地方自治、地方行政および地域に関する専門的知識を備えた人を育てる。
- ④以上のような目途に即した学業をなし、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士号（コミュニティ政策学）を授与する。

### カリキュラム・ポリシー

- ①基礎学力及びコミュニケーション能力の向上、並びに適正かつきめ細やかな指導のために、1年次から3年次までの3年間、必修の演習科目を置く。
- ②地方公務員、企業人、社会起業家、あるいは地域活動家などとして、地域社会の活性化に多様な仕方で貢献できる市民を育成するための科目を置く。
- ③問題解決力、表現能力等の実学的な知識と能力を身に付け社会で生き抜く力を養うために、経営、情報コミュニケーション技術及び資格取得に関わる科目を置くとともに、フィールドワークを授業に取り入れる。

### アドミッション・ポリシー

- ①地域社会など多様なコミュニティの問題に関心・興味があり、公務、経済活動、地域活動を通して地域社会の活性化に関わりたい人を求める。
- ②政治、経済、経営、情報コミュニケーションを総合的に学びたい人を求める。
- ③政治、経済、まちづくり、経営について体験的、実践的な学びをしたい人を求める。